



2016年2月29日

各 位

会社名 塩野義製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 手代木 功
(コード番号 4507 東証第一部)
問合せ先 広報部長 高木 浩樹
TEL (06) 6202-2161

インフルエンザ感染症治療薬 S-033188 の提携に関する Roche 社とのライセンス契約締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、このたび、自社創製のインフルエンザ感染症治療薬S-033188の提携に関するライセンス契約をF. Hoffmann-La Roche Ltd.（本社：スイス バーゼル、CEO：Dr. Severin Schwan、以下「Roche社」）との間で締結しましたので、お知らせいたします。

本薬は、インフルエンザ感染症治療薬として新規の作用機序となるキャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害*により、単回治療で、既存のノイラミニダーゼ阻害薬*に勝ることが、また同時に、既存薬に対する耐性ウイルスに対しても治療効果を示すことが期待されています。2015年10月には厚生労働省より先駆け審査制度対象品目に指定され、現在、国内における第Ⅱ相臨床試験の段階にあり、最速で2017年度内の国内申請を予定しております。

このたびの契約締結を受け、塩野義製薬は、日本と台湾を除く全世界におけるS-033188の開発をRoche社との提携下で進めてまいります。当社は、契約の締結に伴う一時金、ならびに今後の開発進展や承認取得などに応じたマイルストーン、製品上市後の販売額に応じたロイヤリティーをRoche社より受け取ります。なお、米国においては、本薬を上市後に当社グループがRoche社と共同プロモーションする権利を留保しています。

インフルエンザ感染症は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年冬季を中心に世界中で流行し、多数の患者の発生と高齢者の死亡、インフルエンザ脳症に代表される乳幼児における合併症等を引き起こします。Roche社は、インフルエンザ治療薬タミフル®のグローバルにおける開発及び販売による豊富な経験と実績、高い専門性をもっています。塩野義製薬は、Roche社との提携を通じ、患者さまとご家族に必要なとされる画期的なインフルエンザ治療薬を一日でも早くお届けできるよう、努めてまいります。

以上

*次ページの解説をご参照ください。

【お問合せ先】 塩野義製薬株式会社 広報部

大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099

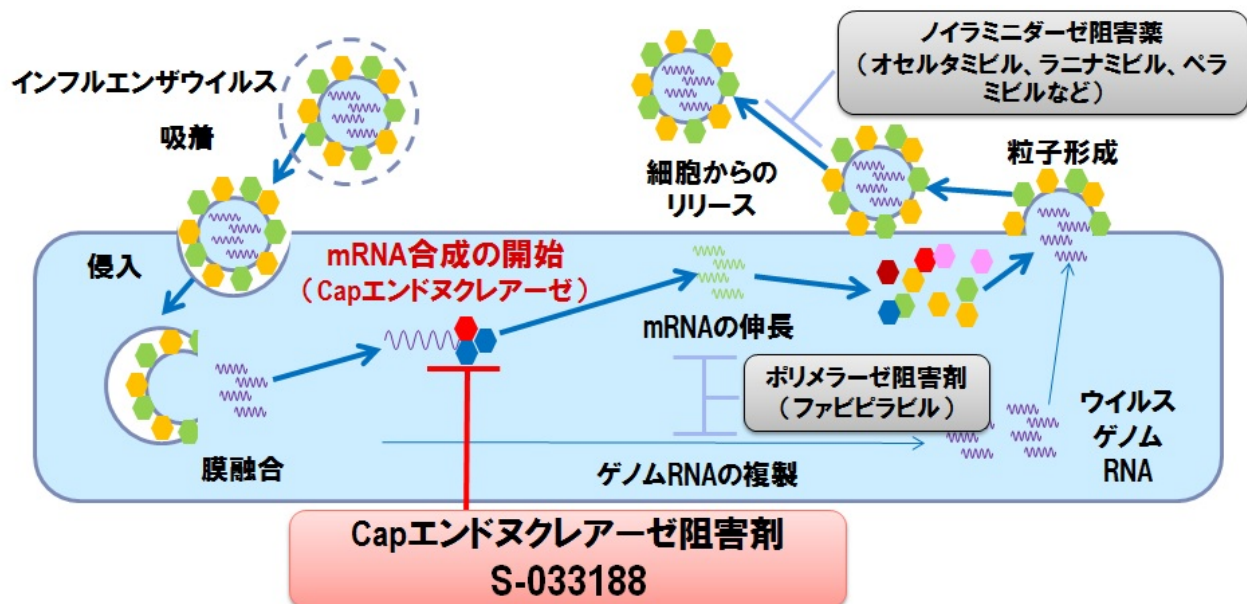
【ご参考】

1. キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害

- インフルエンザウイルスが細胞へ侵入後、ウイルス増殖に必要な RNA 複製過程の最初の反応となる mRNA 合成の開始を特異的に阻害する。
- キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害により、インフルエンザウイルスの増殖に必要なタンパク質が合成できなくなり、細胞内においてウイルス粒子が形成されなくなる。
- 細胞内でのウイルス増殖を阻害できるために、インフルエンザウイルスに対して強い増殖阻害を示すことが期待できる。

2. ノイラミニダーゼ阻害

- ノイラミニダーゼは、細胞表面の糖鎖をシアル酸残基の部分で切断する活性を持つ酵素であり、この働きによって新たに作られたウイルス粒子が感染した細胞から細胞外に遊離される。ノイラミニダーゼ阻害薬は、細胞内でのウイルス粒子の増殖は阻害できないが、細胞内部で増殖したインフルエンザウイルスの細胞外への遊離を阻害することによって、インフルエンザの増殖を抑制する。



※ 2015 年度第 2 四半期（上期）決算説明会資料（34 ページ目）より
<http://www.shionogi.co.jp/ir/pdf/p151030.pdf>